

古典紹介・解説

九成宮醴泉銘④

佐々木香流

これまでの三ヶ月で特徴、用筆法などが把握出来た頃と思います。そろそろ条幅学習をおすすめ致します。各字を半紙で良く練習し、半切にまとめる時は字の大小、字間、行間、墨量、潤渴をバランス良く配置出来るよう工夫しましょう。

また九成宮は字数（全一一〇八文字）が多いですが、全臨にも挑戦してみてください。ご自分のペースで良いと思います。条幅で作品感覚を養っておくと検定試験はもちろん、各公募展作品仕上げに役に立ちます。

蘭亭序④

高橋 素香

今回の部分は、書きやすさを優先して、筆順が変わったり、筆画ではなく汚れであったり、また初め「於」→「向」。「今」→「之」の改めたりの部分があります。

早いもので蘭亭も中盤を過ぎますが、神龍本は筆順もわかりやすくどんどん書き進む楽しみが出て来ますよね。

半紙から条幅学習・全臨・精臨も是非、おすすめします。

検定に向かい条幅作品をたくさん書き込んで下さい。

今回は検定について述べてみたいと思っております。